

菜の花プロジェクト — 実習田だより No.6 —

撮影 平成26年5月29日

平成26年6月14日



▲6月3日撮影 刈り取り後5日目の様子



▲6月8日撮影 刈り取り後10日目の様子

下関市立名池小学校にて菜の花の脱穀体験
▼刈り取った菜の花を10日間干したものを足で踏む作業

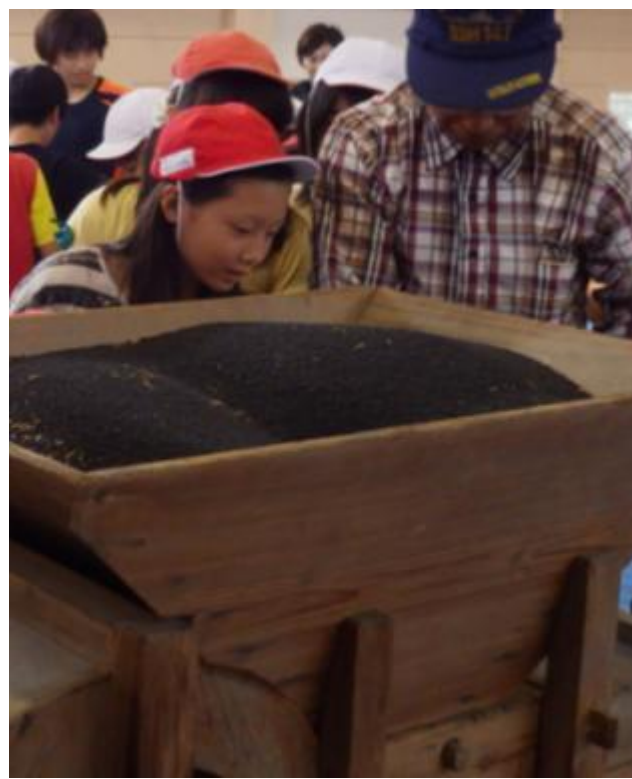
▼足で踏み、菜種とさやを大小2種類のふるいにかける作業



▲6月10日撮影



▲6月10日撮影



▲ 風力で穀物を選別する唐箕のハンドルを回し脱穀の体験をしています。今回、脱穀した菜の花から菜種は144kg重さにして約100キロの収穫がありました。

▲ ^{とうみ}唐箕 昭和11年製造の唐箕です。所有者はこの度の菜の花の休耕田を提供して頂いた船本真二さんが所有されているものです。脱穀、農機具の仕組みや菜種油が明かりに使われていた歴史などを子どもたちに説明していただきました。

